

投票に行って

## 我孫子市議会を変えましょう!



### 市議会は私たち市民のもので!

落選後の困窮生活からどうにか脱し、生活も落ち着き時折市議会を傍聴するようになりました。

一市民になった自分は遠い場所から眺めるだけ。議員たちは議会の中心で主役として活躍している。正直な気持ちを告白すると、妬みや過去の落選の負い目もあり、悔しい気持ちになったものです。ところが、何度かいくうちに、悔しさとは違う「疎外感」、「寂しさ」を感じるようになりました。議会を見に行っても歓迎されている感じがしない。むしろ、「そこで見ていてもいいけど、邪魔するなよ。」と言われている感覚です。

実は、これが、普段市民が議会に対して感じていることなのかもしれないと気づきました。

「市議会は、議員たちのものになっていて、市民のものではないじゃないか。」そう思うと、無性に腹が立ちました。議会を傍聴しながら、自分だったら、ああしたいこうしたいという「ある種の欲望」が抑え切れなくなりました。

これこそが、今回人生再チャレンジを決めた原動力となったのです。

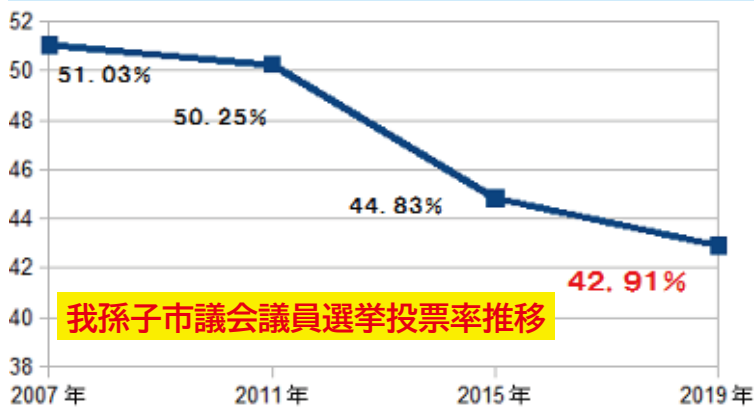
## 我孫子市の投票率

### 有権者の半数以下で認めた議会は市民の代表か?

右のグラフは、我孫子市議会議員選挙の投票率の推移です。

私が落選した記念すべき?選挙では、51.03% (辛うじて半数の有権者)

しかしながら、直近の2019年(令和元年)の選挙では、42.9%です。ほぼ8%の下落です。(有権者数で換算すると約9千人弱の減少)6割弱の有権者は投票していない計算です。注)2019年度有権者数110,741人中、投票者数47,522



### 我孫子市民の半数以下だけで認めた議회가民主的な市議会といえますか?

議員、議会が体たらくだと思われる方がいるとすれば、それは同時に市民皆さんの責任でもあります。「自分の1票が何になるのか。」などと馬鹿げた言い訳をしないでください。

投票率が上がれば議員の本気度が上がります。さらに市民に直接かかわっていかねばと気づきます。

とはいえ、**市民の無関心を生んでいるのは紛れもなく議員の責任です。**

議会、議員に無関心になる原因は、裏面でも再度考察しますが、選挙と議会の現状にあります。

皆さんは、我孫子広報、我孫子市の公式サイトなどをじっくり読み、常日頃から我孫子市でどんな条例が出されたのか、どんな計画が立てられているのか確認していますか?

「そんな暇ないよ。」と思った方。大正解です。**生きていくため日々頑張っている市民にそんな暇はないのです。**

だからこそ、**市民の代行者**として議員を選び、**彼らを議会に送り込む**のです。

その代行者に行政から出される条例案や計画案を研究させて、その内容について議論させるのです。

当然、その内容は、代行者である**議員から市民に逐一報告**されなければいけません。



連絡先 かつべひろふみ公式サイト「とびら2023」

X(Twitter) @Hirofumikatsube



# 選挙公約って何だ？



**選挙**になると各家庭に選挙公報、候補者のチラシ入ってきます。市内には 250 箇所近い数の掲示板が立ち、選挙ポスターで埋め尽くされます。候補者の顔、名前もさることながら、やはり目を引くのがキャッチコピーや、**選挙公約**です。候補者にとっても、自分をアピールするために最も力をいれる部分でしょう。「我孫子の未来のために頑張る!」、「子どもたちの将来のために!」、「〇△の活性化!」などさまざまなスローガンが並び、**選挙ムードも盛り上がってきます**。(あくまでも候補者にとってですが)先ほどの議論にも重なりますが、皆さんは、こういった選挙公約をじっくり読み、各候補者が当選後どのように実現していくのか常日頃から確認しているでしょうか？ 正解はもうお分かりですね。必死に働いて税金を納めている市民に「**そんな暇はない**」のです。

## 選挙公約はいつの間にか行方不明になる。

選挙における公約は、子どもが将来の夢を語るのとは違います。

**公約とは「市民との契約」**です。自分が掲げた公約は、きちんと実現するよう最大限の努力をしなければいけません。その中には、当然出来なかったこともあるでしょう。それも含め、実現に向けての進捗状況を逐一市民に報告する義務があります。(その裏側に、当選して議員になる権利があるのです。)我々は、市民の代行者として、彼らを議会に送り込んだのです。選挙時の公約が実現できたのか、出来なかったのか。仮に出来なかったとして、それがなぜなのか？**公約実現状況を知る権利**があります。それが無いから、**市民は公約に胡散臭さしか感じない**のです。

## 選挙は単純明快に！

選挙を題材にしたドラマがたまに放送されます。そのほとんどは、ひとクセもふたクセもある食えない連中や表の顔と裏の顔がある「The 政治屋」が出てくる複雑怪奇な世界として描かれることが多いですね。国政ならそうかも知れませんが、市議会議員選挙ですからね。**市民感覚に根ざしてやるべき**でしょうね。「**チラシ、SNS、演説、個別の対話で自分がやろうとしている政策を訴える。それに共感してくれた人が票を入れる。**」それだけのことでないでしょうか。また、**市議会は、国政の下部機関ではありません**。団体、政党の支援を取り付けてというのは自治体の選挙の形ではないと考えています。(政党、団体の支援をもらって「無所属」というのも胡散臭いのです。)かといって国会議員、県会議員と敵対するのもおかしな話です。**我孫子市の将来のため頑張る仲間**として協力体制をもてればよいだけです。そんなの「お花畑」の議論だと思いませんか？私が以前立候補したときの出陣式は、地元の自民党議員、民主党議員両方が来たので拒まず演説してもらいました。国政選挙真中に行った私の結婚式にも自民、民主両国会議員をご招待し、それぞれありがたい祝辞をいただきました。「特定の党派に依存しない。」という私の政治信条は徹底しております。

## 市議会、市議会議員って何？

「とびら通信第1弾」で議論したことをもう一度考えてみましょう。議員の仕事は、「**市民の代行者として公の議論をする**」ことにつきます。そして、議員の資質として大事なものは、「**先見性と想像力**」です。議員を「税金泥棒」にするかどうかは、「**市民の支援(批判と協力)**」次第です。良くも悪くも、ある一定の「**権力**」を手に入れた議員を野放しにしてはいけません。お金と権力は、持てば持つほどもっと欲しくなる厄介な代物です。そして、ほとんどの場合、**その使い道を誤る**のです。(有り余るお金を手に入れて、庶民相手に意味なくばら撒いたり、月に行こうとしたりする人いるでしょ。私だったら、その金で基礎科学専門の研究所を設立し、優秀な人材が 10 年 20 年スパンでしっかり給料をもらいながら研究活動できる場を創りますけどね。)権力も持て余すと使い道を誤ります。特に、**権力は「承認欲求」を満たしてくれる**のでお金より厄介です。(本当の自分をさらけ出す勇気のない人ほど、この欲求を求めてしまうのです。) **議員をしっかりと軌道修正するのが、市民の役割**です。右の写真は、私に、「声なき声を聞く能力」も大事な議員の資質であると指摘してくれた方とのツーショットです。その方のおかげで、また私自身も軌道修正することが出来たのです。なるほどと腑に落ちれば、素直に自らの肥やしにする。私は、「**自分自身からも自由**」になれる性格なのです。



【かつべひろふみ 略歴】

我孫子市根戸小学校 久寺家中学校 専修大学松戸高校 明治大学法学部 卒業。  
米国モンテレー国際大学(MIIS)国際政策学修士課程修了。  
1995 年我孫子市議会議員初当選。初めての 12 月議会で代表質問。これが、即戦力です。「議員になってから勉強します。」などおかしな話です。本議会最終日に、納得のいかない委員会採決に対し、委員長質問をしました。(公の議論は、やろうと思えば出来るのです。)

現在、実武道会館 実践空手道 3 段 支部長  
介護施設職員  
(一社)我孫子青年会議所 OB

**負けてたまるか！人生のリベンジ！** (詳細は第1弾、第2弾)